

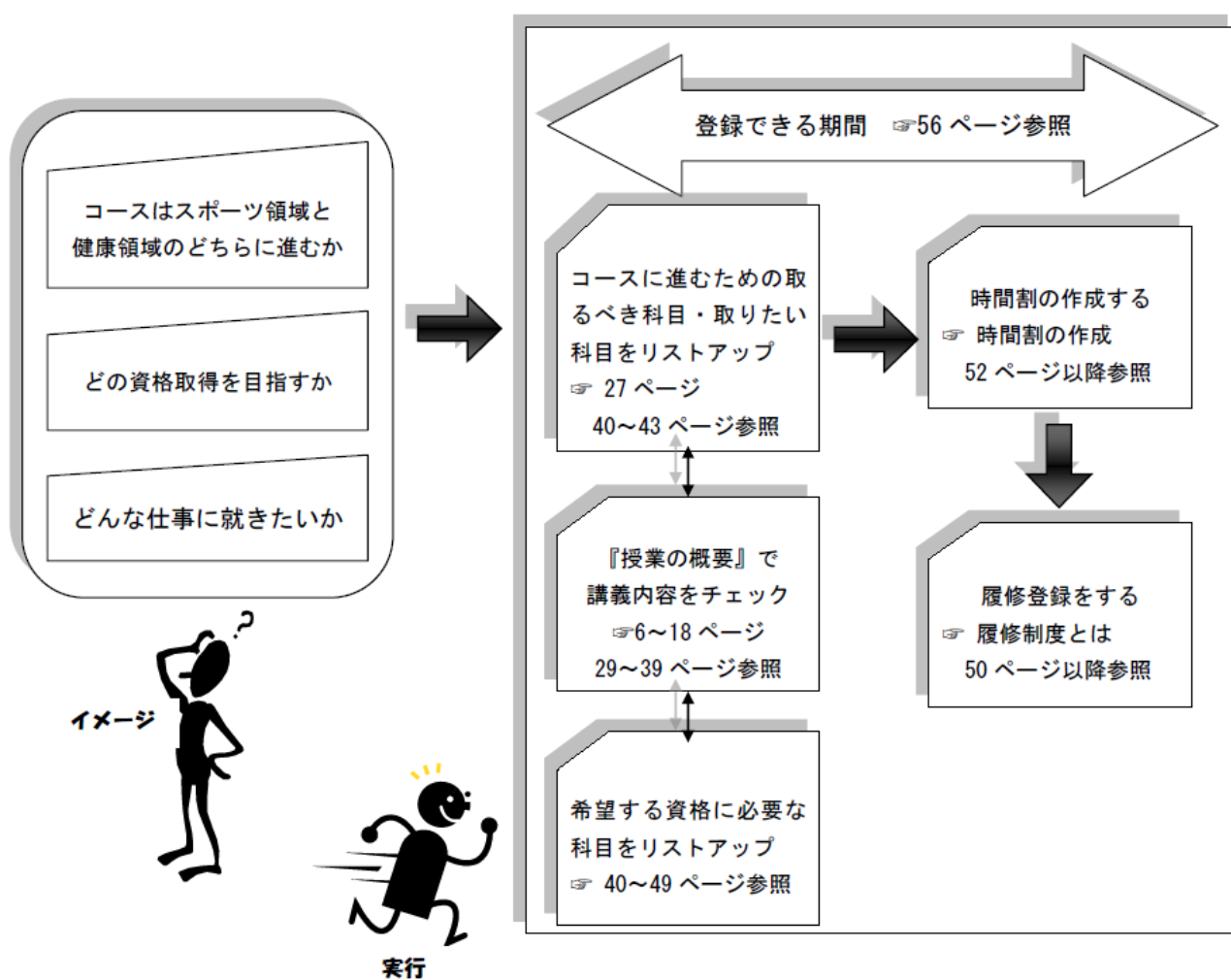
履修計画とは

4年間でどのように単位を修得していくかを定めること

履修計画とは？

履修計画とは、卒業までの4年間でどのような科目を選び、どのように単位を修得していくかを定めることである。大学では、将来の職業などを考えて、皆さん自身が受講したい授業科目を選択し、履修計画を立てる。将来の進路、専攻、自分の興味・関心、適性を考慮しながら、系統的に選択し、学習する必要がある。

履修計画のイメージ



1 履修計画の作成

大学においては、一定の制限に沿って、学生自身が授業科目を選択し履修計画を作成することになっている。授業科目の選択に当たっては、自分の好きな科目を自由に選択するのではなく、学科の特色や特性、将来の進路、自分の個性などを考慮しながら系統的に選択し学習する必要がある。

本学の教育課程は、教育目標を実現するための教育内容によりいくつかに分けられており、履修上の分類として、卒業するために必ず修得しなければならない必修科目、指定された授業科目群の中から選択して修得する選択科目に分けられている。

学生諸君は、卒業するまでの4年間に、一定の制限に沿って受講する授業科目を選択し、年次計画を立て履修計画を作成する必要がある。

2 履修計画の具体例

具体的な履修計画の作成に当たって留意すべきことは以下の通りである。

- (1) 1年次は、教養・基礎教育科目を中心に履修計画を作成すること。
- (2) 必修科目は、所定の受講年次で履修するように計画すること。
- (3) 選択科目は、特定の授業科目の区分に偏らないようにすること。

3 各領域の特徴と領域選択時の留意点

スポーツ健康学科は、スポーツ領域、健康領域の2領域が設定されている。この領域の選択は、2年次の前期に行う。領域選択や、科目登録の際は、1年次の学びの中で、自分自身が最も目指している将来像を意識することが重要である。以下は提供されている2つの領域の特徴である。

<スポーツ領域>

スポーツパフォーマンスの向上、アスリートの養成、ハイレベルな指導者の養成を目差すために必要なスポーツ科学、マネジメントを学ぶ。科学的なスポーツ理論・実践を通じて専門的知識をあらゆる角度から習得し、学識豊かなスポーツ指導者の育成を目指す。

<健康領域>

個々ならびに社会全体のウェルネスを向上させるための健康科学理論と方法論を学び、健康増進や疾病予防、健康長寿などの観点から健康を支援する人材の育成を目指す。

- (1) 領域によって、提供資格が異なることや、領域の学生を優先する科目がある。但し、2年終了の時点で、GPAが3.3以上および72単位以上取得の場合は、領域を超えての科目履修を可能とする。
スポーツ領域では、専門教育科目の実技系科目を8単位以上取得しなければならない。また、ウインドサーフィン、スクーバダイビングI、スキー・スノーボードの科目のうち1単位以上取得することが望ましい。
- (2) 26ページ以降の履修計画を参考に、独自の履修計画を作成すること。
- (3) 履修計画や時間割の作成方法については、新入生オリエンテーションで説明するが、わからないことがあれば、指導教員や年次担当教員、ウェルナビ学生に相談すること。
- (4) 履修計画をうまく立てないと充実した学生生活を過ごすことが出来ないだけでなく、4年間で卒業できない場合もある。